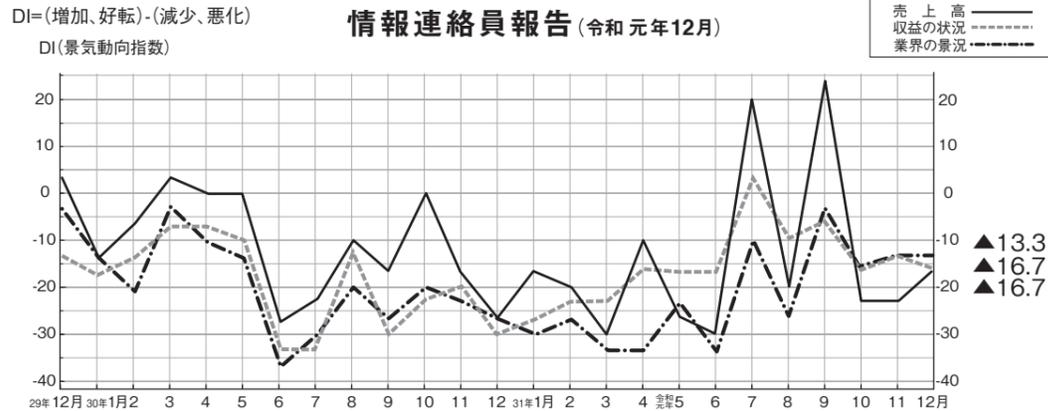


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2019年12月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

<p><b>食品団地</b></p> <p>12月度商況は、好調であった。県内・県外共に、発注数量が増加していた。特に高知県ならではの商品に根強い需要が見受けられた。</p>	<p><b>生コンクリート製造</b></p> <p>県合計の出荷量は前年同月比111%だが、需要の地域差が大きい。</p>
<p><b>酒類製造</b></p> <p>増税による市場の冷え込みを実感。12月最需要期の結果としては残念である。</p>	<p><b>コンクリート製品</b></p> <p>出荷数量は前年同月比144%。市況は、減少傾向が続いていたが、5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加に転じ、12月分も継続している。</p>
<p><b>テントシート</b></p> <p>各種材料費の値上がりに伴う在庫数量も通常年度の環境に戻った状況である。原材料の値上げが、販売価格に上手く転嫁できていない状況にあると思われる。</p>	<p><b>機械団地</b></p> <p>団地内は、全般に良くも悪くもないといった業績で、前年並みの横ばいの景況が続いている。</p>
<p><b>木製品素材生産</b></p> <p>搬入量は、スギ・ヒノキともに1割程度増。価格については、スギ・ヒノキ共に横ばい。</p>	<p><b>刃物製造</b></p> <p>思っていたより売り上げが伸びなかった。購入意識が少し弱くなっているのか、受注数量も小さくなってきている。</p>
<p><b>製材</b></p> <p>11月と同様に原木・製品価格に大きな変化はないが、双方共に不足気味である。</p>	<p><b>船舶製造</b></p> <p>引き続き受注残の消化にて高い操業度で推移している。</p>
<p><b>製紙(家庭紙)</b></p> <p>年末の荷動きも少なく、活況に欠く12月となった。大手家庭紙メーカーが、中小企業が得意とする“高付加価値商品”にも力を入れる様になり、中小企業にとっては脅威である。</p>	<p><b>珊瑚装飾品製造</b></p> <p>12月度製品会取引高は、前年度同月の取引より若干増であったが、加工卸・小売業の景気低迷は続いている。</p>
<p><b>印刷</b></p> <p>県内需要の官公需及び民需に関しては非常に厳しかった。県外需要に関しては業種によりばらつきはあるが微減模様。全体で前年を大幅に下回った。</p>	<p><b>卸団地</b></p> <p>消費増税の影響か、景気が悪化しているように思える。クリスマスケーキの販売量が昨年より大幅に減少している洋菓子店が目についた。お正月商材については、一般家庭向けおせちは増加傾向にあった様子。</p>

<p><b>青果卸売</b></p> <p>暖冬と販売価格低下の為、前年比90%の売上高になってしまった。</p>	<p><b>商店街(四万十市)</b></p> <p>12月26日、東下町商店街の「東下町パーキング」跡に「日本生命」がオープンした。もう1店舗飲食店が入る予定で工事中である。旧土庫銀行跡地の新施設名称が公募の結果「Shimanto+Terrace はれのぼ」(しまんとてらす はれのぼ)に決定した。</p>
<p><b>生鮮魚介卸売</b></p> <p>全体的(カツオ、マグロ)に魚の入荷が少なかった為、買高の大幅減少に繋がっている。それに伴って仕入れる小売店舗の廃業も減少の一因と思われる(小売店舗の廃業の歯止めがきかない)。</p>	<p><b>旅館・ホテル</b></p> <p>昨年同月は復興割引を利用して観光客が増加し、閑散期にしては稼働を高めていたが、今回はあまり伸びなかった。宴会需要も今ひとつ低かった。</p>
<p><b>各種小売(土佐市)</b></p> <p>12月というのに、あまり忙しい感じはない。年々、年末といっても昔のように休む時間もない様な事はなく、落ち着いてきている。</p>	<p><b>飲食店</b></p> <p>業態により差はあるものの、繁忙期の本月だが選挙等の影響で前半の集客が大変少なく後半に集中した。やはり、消費増税以来売り上げは減少している。業界の景況はやや悪化。</p>
<p><b>ガソリンスタンド</b></p> <p>12月の原油相場は米中貿易交渉の合意を受け、貿易摩擦をめぐる不透明感が後退、エネルギー需要の下方圧力となる世界経済の減速懸念が和らぎ、原油価格は上昇基調が続いており、元売りの仕切り価格は中旬以降上昇した。転嫁値上げは1月以降となる。</p>	<p><b>旅行業</b></p> <p>組合クーポン売上前年同月対比153%、全旅クーポンを加味して144%。総売上も前年同月までと比較して97%まで持ち直すことができた。</p>
<p><b>電気機械器具小売</b></p> <p>12月度は、全商品合計で前年比100%。4Kテレビは好調で前年比136%、エアコンは前年比93%であった。</p>	<p><b>一般土木建築工事</b></p> <p>公共土木用生コン出荷量は、前月比88.9%、前年同月比112.7%。公共工事請負金額は前年同月比60.0%、前年対比累計126.8%。R1/12末時点の発注者別前年対比累計では、国:122.9%、高知県:138.3%。</p>
<p><b>中古自動車小売</b></p> <p>全体的には、先月から変動はあまりない。ただ、問い合わせ件数が増えており、軽自動車や特にハイブリッド車の問い合わせ件数が増えている。</p>	<p><b>電気工事</b></p> <p>組合員の施工する電力引込線の工事量は、前年同月比121.2%となった。高知中央地区の伸びが大きい。</p>
<p><b>商店街(安芸市)</b></p> <p>年末恒例の歳末大売出しを実施。空き店舗を活用したコミュニティ施設にて、ギターコンサートや音楽会が開催された。</p>	<p><b>一般貨物自動車運送</b></p> <p>繁忙期であったが荷動きは昨年と同等だった。しかし燃料価格の若干の値上げ、ドライバー不足など組合員企業には厳しい年末となった。組合事業は昨年度を少し下回った。</p>
<p><b>商店街(高知市)</b></p> <p>中央公園地下駐車場利用状況(前年比)売上:95.5%、台数:95.2%。来街者数の増加に伴い、飲食関係はある一定で推移するものの、物販の売上は相変わらず厳しい状況にある。</p>	<p><b>タクシー</b></p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:104.1%、輸送回数:98.6%。当月の実働率は66.5%。運賃改定中であった高知市のタクシー運賃が12/20公示、R2/2/1より実施されることになった。増収率は3.12%。初乗り距離短縮で、中型、小型が普通車に統一された。</p>

あなたの挑戦のそばに  
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

立ちどまらない保険。  
MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.